

No.	月 日	曜日	啓発内容	団体名	参加人数
1	8月14日	木	施設見学	那珂川市立岩戸北小学校 ・片縄小学校教職員	4名
2	8月20日	水	施設研修・見学	古賀市職員	43名
3	8月21日	木	施設研修・見学	古賀市職員	35名
4	9月2日	火	施設見学（保護者4名）	小野小学校4年生	68名
5	9月3日	水	施設見学（保護者8名）	古賀西小学校4年生	114名
6	9月27日	土	KOGA環境ひろばinサステナフェス	市民	約500名
7	9月30日	火	施設研修・見学（保護者1名）	千鳥小学校4年生	22名

1. 施設見学（那珂川市立岩戸北小・片縄小学校教職員） 8月14日（木） 4名

写真省略

◇よく理解できた 4名

○「流れていった行方は知らない」という状態で今回見学に伺ったのですが、回収から処理、自然へと返したり、再利用したりと様々な工夫をしてあることが、施設見学やお話を聞く中で分かった。また様々な方に啓発をしていくということも重要なこの施設の仕事であり、実際に来て自分の目やにおいで体感できたので、とても学びになりました。しっかりと子どもたちに伝えて学びを深めていきたいと思います。

○そもそもバキュームカーでとっていただくのは、いわゆるし尿だけだと思っていました。浄化槽と下水処理の違いが解っておらず、そこから勉強になりました。食べることと同じくらい出すことが大事（排糞）をぜひ子どもたちに伝えたい。「その後が大事」と言われたことが心に残りました。大人でもあまり考えていないことだと思います。でも生きていく中で絶対外せないとても大事なことで、忘れないでください。

○自分自身もトイレをした後、し尿はどうなっているのかを良く知らなかったのが今回実際に見学することができて良かったです。施設内が全く臭いがしないのも驚きました。臭気を出さないために段階をおってにおいを除去していたり、建物の外に出さないようにシャッターなども工夫されていてたくさんの工夫がされていることがわかりました。し尿の処理はしなくてはならないものであること、差別をされていたことも知り、なくてはならない大切なものであるということを子ども達にも伝えていきたいです。

○子どもたちに教える立場として自分が知識がなくこの場で教えて頂いたことや思いを少しでも伝えられたらと思います。当たり前のように暮らしている中で自分たちが生きていくために大切な仕事があることを深く伝えられたらと思います。

2. 施設見学・研修（古賀市職員） 8月20日（水）43名

写真省略

◇よく理解できた 27名 ◇理解できた 16名

3. 施設見学・研修（古賀市職員） 8月21日（木） 35名

写真省略

◇よく理解できた 23名 ◇理解できた 12名

○海津木苑が出来た経緯などを学ぶことができました。美しい施設を通して、見学した子ども達は排泄に対してプラスのイメージを持ってくれることと思いますし、小学校のうちから人権を学ぶ機会を作っていることも素晴らしいと思います。自分の子どもにもぜひ見学して、色々なことを感じてほしいです。

○海津木苑の建設経緯については何度も研修し概要は把握しているつもりだが、今回の研修を受けるとやはり当時の切羽詰まった状況やそれに対応する職員の苦勞、そしてし尿処理施設と差別との問題に真正面から向かい合い、さまざまな葛藤を経て建設を受け入れた地元区住民の決断のすごさを改めて感じた。差別を自分事としてとらえ、差別を許さないという立場で行動することは非常に難しいことであると思うが、このような経緯を経て建設された海津木苑という施設が、古賀市にあるという事は象徴的であり、行政職員としてこれからも差別の解消に向き合って行きたいと思った。

○下水道処理計画区域内であったこの地に、この施設を拒否することは新たな差別を生む、迷惑施設ではなく大切な施設である、この施設を受け入れることで、部落差別を含む様々な差別の解消の足掛かりにしようという当時の精神は、受け継がれていくべきだと強く感じたし、このことを我々を含むこの研修を受けた人たちが少しずつでも啓発していくことで差別解消の一助になっていくことができればと思った。

写真省略

保護者の感想

○建設経緯のアニマル村のお話し、とてもわかりやすかったです。私たちも子どもたちも知っておかないといけない歴史だと思いました。私自身も小学生のとき、海津木苑見学に行きました。施設見学を長く続けて頂けることに感謝です。動くバクテリア見れて楽しかったです。

○施設の見学そのものが久しぶりのことでとても新鮮な体験でした。説明も分かりやすく動画もすごく見やすい、子どもたちが見入るよう作られていて面白く学習できました。職員さんが7名なのも驚きで、古賀市にバキュームカーが3台しかない事も初めて知ったので驚きです。とてもきれいな施設で大切な役割を担っている施設が古賀市にあり、誇らしいです。助燃剤も感動。微生物さまざまですね。

○バクテリアの名前がむずかしかったけど、かわいいと思いました。職員さんの数もバキュームカーの台数も少なくてびっくりしました。毎日のお仕事大変でしょうが、皆様のおかげで、きれいな街になっていることがわかりました。本当ににおいとかなくびっくりしました。

◇よく理解できた 2名 ◇理解できた 1名 ◇おおむね理解できた 1名

先生の感想

施設案内では、丁寧に施設や機械の説明をしていただきわかりやすかったです。事前にスライドでし尿処理の流れやバクテリアのことを教えていただいていたため、より理解が深まったと感じています。また、し尿処理施設撤去問題について、アニマル村の動画で伝えていただき、子どもたちの身近な動物が登場し、入り込みやすく心に残ったと思います。し尿処理に対する偏見や思い込みを持たず、正しく判断していくことの大切さをしっかり伝えていただき、その後の振り返りの授業や道徳の「お父さんの仕事」の授業でも考えを深めることに繋がりました。「お父さんの仕事」の授業の中では、主人公がお父さんのし尿処理の仕事を知られるといじめられるかもという思いを「うさぎさんがいじめられていたのと同じだ」と発言して、アニマル村の動画と結びつけて考えていました。

児童にどのような変化が見られたか

子どもたちは見学を通して、し尿処理に対する「くさい」「きたない」というイメージが思いこみであったことを実感し、その後の「お父さんの仕事」の学習でし尿処理施設は人々が気持ちよく暮らすためになくてはならない大切な施設であること、働く方への尊敬や感謝の気持ちを持つこと、またひとに流されずに事実をもとに正しい判断をし、おかしいことはおかしいと言おうとすることの大切さに気付いてきました。海津木苑で実際に見て、聞いて、体験したからこそ教材と結びついて学びが深まったのだと思いました。その後、友だちの行動を疑問に思い、きちんと注意する子の姿が見られました。

授業や児童の学校生活にどのように活かしていこうと考えているか

低学年では排泄の大切さやトイレ掃除の大切さを学びました。4年生ではし尿処理学習を行いし尿処理施設への偏見や思い込みが差別に繋がることを学びました。この学びを6年生での歴史学習につなぎ、差別を見抜き事実をもとに物事を正しく判断していこうとする態度を育てていきたいと思います。

5. 施設見学（古賀西小学校4年生） 9月3日（水） 106名 保護者8名

写真省略

保護者の感想

〇し尿処理はろ過や薬品（化学反応的なもの）できれいにしていると思っていたのでバクテリアが主役というのを知れて良かったです。知って理解を深めることが大事だなと思いました。また、虹の話は、なるほどなーと思いました。自分の主観だけでなく色々な見方が出来るようになりたいと思いました。施設内の見学もおいがなくびっくりしました。

〇し尿処理施設の大切さを知ることができました。イメージは子どもたちの挙手であまり良くはなかったようですが、この研修で変わるのではないかと思います。

〇バクテリアの力で水をきれいにしていることを知り驚きました。”バクテリアに最高の力を発揮してもらうこと”と聞いてかっこいいと思いました。高速スパイラルシャッターがどのくらいのスピードで開閉されるのか気になります。その後の映像で理解しました。速かったです

先生の感想

初めて海津木苑に行きましたが、し尿処理の仕方や施設の様子、古賀市の歴史などたくさんのことを学ばせていただきました。施設の方の思いや願いの話を聞き、子どもたちは自分の目や肌で施設の様子を感じることができたと思います。

児童にどのような変化が見られたか

事前のアンケートでは行ったこともないのに「施設がくさい」と思い込んでいる子が半分以上いたけれど、見学後のアンケートでは「施設がくさい」という回答が減りました。自分の五感を使って学び得た後、自身の中にある勝手な思い込みに気付くことができたと思います。

授業や児童の学校生活にどのように活かしていこうと考えているか

この”思い込み・偏見”を学習をとおして、自分の中にあつたことに気付かせ、考えを見つめる時間をもうけると共に、思い込みや偏見のばかばかしさを感じて自身の生き方、考え方に近づかせたいと思います。

6. KOGA環境ひろばinサステナフェス 9月27日（土）（福津イオン）

写真省略